

NPO 法人岡崎がくどうの会

2022 年度学童保育指導員研修新任研修レポート

第 1 講義 『学童保育とは-歴史と役割、学童保育指導員の倫理』

第 2 講義 『健康・安全・衛生-1-子どもの受け入れ、健康管理-』

第 3 講義 『一日の仕事・打ち合わせ・記録-』

第 4 講義 『緊急時の対応・日々の安全と緊急時の対応-』

第 5 講義 『健康・安全・衛生-2-衛生管理・食品管理等日々の衛生-』

第 6 講義 『保護者との関係・地域関係機関との連携・保育の役割を果たすために-』

【クラブ】（ あおぞらクラブ ） 【名 前】（ 花田幸奈 ）

全 6 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

学童保育の専任指導員になり、半年が経とうとしています。この半年間、私は子どもたちとの関係性を築くことと同じくらい、保護者の方との関係性が大切だと感じてきました。「保護者の方との会話を大切にしたい」「子どもたちの様子を知ってもらうことで安心して学童に子どもを預けてもらいたい」という気持ちをもっていながらも、あおぞらクラブには毎日たくさん子どもたちが帰ってくるため、毎日指導員一人で子ども一人一人の様子を詳しく把握しようと思うと、限界があるように感じています。

そんな中、第 6 講義『保護者との関係・地域関係機関との連携』のお話の中で、「保護者に子どもの生活を伝えるために、指導員間の共有と連携が土台となる」という話を聞き、土台となる部分が自分の中で少し薄れていたことに気が付きました。「ここ半年間、他の指導員さんの話に自分から耳を傾けることができていたかな」「自分からのお話、お願いばかりになっていなかったかな」と振り返る機会にもなりました。専任指導員として「一人でやれるようになりたいこと、先輩指導員がいなくても現場を回せるようになっていきたいという思い」がある中で、“指導員全員で一緒に頑張っていく気持ち”“チームワーク”を忘れずに、そして、より大切にしていきたいと思いました。

第 2 講義『健康管理』についてのお話では、これからの時期特に注意が必要な『熱中症対策』のお話を聞くことができ、指導員全員で再確認しておきたいことがたくさんありました。あおぞらクラブでも夏前から少しずつ、公園の帰り道や、おやつで塩飴を配っています。朝来た時に塩飴を配っている学童クラブもあるということで、熱中症対策が徹底されていて驚きました。最近では、子どもでも食べやすい塩飴・タブレットが増えてきていて、食べれる子も増えていてありがたく感じています。一方で、飴やタブレット自体食べれない子もいるのでその子たちへの対策も忘れずに行っていきたいです。

そして、自分で体調の変化に気づける子、気づけない子どもたちがいます。子どもたちのいつもと違った様子にいち早く気づけるよう、日ごろから指導員全員で子どもたちの様子を気にかけて一緒にすごしていきたいと思いました。